



株式会社 正建

福岡県北九州市小倉北区片野 4 丁目 3-7
プレアール片野 2F

□営業品目□

- シーリング工事
- 防水・止水工事
- 鍛冶工事
- 足場仮設工事
- 解体工事
- etc...

check Point

大人は仕事も遊びも全力で

▼10代のころから建設業界に入り、20代前半で起業した涌波社長。10代のころは友人と過ごす時間が楽しく、仕事に身が入らないこともあったという。しかし、信頼する師匠のもとで徐々に仕事を覚えていくにつれ、仕事に対する姿勢にも変化が現れた。真剣に仕事と向き合うようになってから間もなく、独立を決意。業績が右肩上がりになればやりがいも大きくなり、ますます仕事に力を入れるようになった。そうして現在では共に働く人も増え、任せてもらえる仕事も拡大。社長は今まで以上に面白みを感じながら仕事に打ち込む一方、趣味のゴルフやジェットスキーなど、プライベートも充実させている。社員たちにも同様、仕事終わりや休日など自由な時間を大切にしてほしいと考えているという。仕事のパフォーマンスを高めるには、心と体をリフレッシュさせる時間は不可欠である。公私共に全力で楽しんでいるということも、『正建』が常に質の良い仕事を貫徹できている秘訣なのかもしれない。

多くの社員さんや職人さんを束ねるのは大変でしょうね。一人ひとり性格や考え方が違いますから、難しさを感じることもあります。しかし、お陰様で頼れる社員たちに恵まれました。昔からの付き合いで先輩でもある人と、兄弟分のような同級生も共に働いてくれており、二人とも信頼の置ける右腕のような存在です。一緒に働く職人さんは私より年上の方が多いのですが、皆さん私の顔を立って下さる優しい方ばかりです。現場を

しつかり任せられる若い人もいて、心強いですね。また、私が現場仕事を教わった師匠とは今でもたまに連絡を取っていて、仕事を教えて下さることもあります。あらためて、人に恵まれていると実感します。普段は照れくさくてなかなか言えませんが、本当に助けられているので感謝の気持ちしかありませんね。

社長に人望があるからこそ、人が集まってくるのだと思いますよ。では最後に、今後の目標をお聞かせ下さい。

任せてもらえる仕事も順調に増えてきているので、今後はさらに手掛ける業種を増やしていけたらと考えています。今は本当に日々の仕事が好きで、やりがいも感じているんです。まだまだ若いですから、失敗を恐れず、次々と色々なことに挑戦していきたいですね。そうして毎年少しずつでもいいので着実に成長し、40歳になるころには元請けの立場になれるよう、会社の規模を拡大していきたいです。そのためにも、日々安全第一を徹底し、お客様に信頼していただけるような確かな仕事を納めていく所存です。



村野 武範 (俳優)

guest comment

「今では好調に事業を進めている涌波社長ですが、過去には施工が完了した仕事のお金が支払われず、大きな損害を被ったこともあるそうです。そんな厳しい局面に立たされながらも踏ん張ることができたのは、社員さんたちの存在があったから。そんな社員思いの社長だからこそ、多くの人に慕われ、成長し続けることができているのでしょうね」

代表取締役 涌波 正登

対談

ゲスト 村野 武範



▲10代のころから社会に出て働き始め、建設業の親方のもとで仕事の基礎を身につける。20代前半で独立し、後に『正建』を設立。徐々に手掛ける仕事の幅を広げ、現在では、協力会社の職人を含めて30人近い人材を束ねる総合建設業者に成長した。

北九州市に拠点を構える総合建設会社『正建』。防水・止水工事や鍛冶工事をメインに幅広い工事に対応し、社名の通り正確な施工を強みとしている。本日は、俳優の村野武範氏が同社を訪問。人間関係に重きを置き、多くの人望を集める涌波社長にインタビューを行った。

周囲の支えに感謝し、休むことなく一歩一歩成長し続ける

若くして独立し、 困難を乗り越えて成長

はじめに、涌波社長がこちらの会社を立ち上げるまでの経緯から伺います。

10代のころから現場の仕事に就き、それ以来この業界一筋で歩んできました。働き始めた当初はまだ学生くらいの年齢でしたから、仕事に打ち込むよりも友人と遊ぶことのほうが楽しかったですね。それでも、21〜22歳になると、自然と仕事に対する姿勢や意識も変わっていききました。本腰を入れて仕事に取り組みうと思いい、自分で事業を起こしたのです。最初は人材派遣のような形で、仕事をもらって職人さんを現場に派遣しました。ありがたいことに私は人に恵まれており、呼びかけに応じてくれる後輩などが大勢いたので、人手を集めることができたのです。そうして徐々に受ける仕事が増え、会社としての基盤も整っていききました。現在は、主に防水・止水工事や鍛冶工事を手掛けています。

お若い時に起業されたそうですが、独立当初から順調だったようですね。

いえ、そうでもありません。これまで、数々の苦労も経験しました。やはり人を雇うという以上、トラブルも避けられません。

以前には、仕事のミスで叱つたら突然来なくなってしまう人もいます。昔は深追いや原因があったのかな」と考えるようになりました。そうして次に活かしながら、少しずつ成長していければと思っています。また、5年ほど前には、依頼を受けて施工したにもかかわらず連絡がつかなくなり、お金がもらえないということもありました。自分は耐え忍ぶにしても、作業をしてくれた職人には手当を支給しなければいけないので、全て自分で立て替えたのです。その時は、かなり追い詰められました。それでも、社員のために「ここで終わったらだめだ」と奮起することで乗り越えられました。そうした経験があったからこそ、今があると思います。

社員さんの生活を守るという強い責任感が、苦況を脱する原動力となったのです。社員さんには、普段どのように指導されているのでしょうか。

仕事に関しては、「お客様に迷惑がかからないようなことはするなよ」とは言っていますが、それ以外は各自の自主性に任せています。あとは、よく言われる「報告・連絡・相談」は欠かせません。現場で何かあれば、必ず私に連絡してほしいと思っています。